

ごみ処分場がやってきた！
流域で考え、足もとから行動する

安溪 遊地(あんけい・ゆうじ)
山口県立大学・国際文化学部教員
ふしの川清流の会・会員



今日のお話のあらすじ

- 1. アフリカの森で学んだこと 人は自給的な豊かさの中で生きることができる
- 2. わが家の四季 環境を考えて暮らす。(いまあしもとでできることを楽しく)
- 3. 「流域の思想」を生きる 行動が必要なき



長い旅・多言語生活



1. 西表島でフィールドワーク入門(1974~)
島の方言と沖縄大和口(2年)
2. コンゴの森で村長の養子に(1976~)
スワヒリ語・ソンゴラ語(2年)
3. 世界都市・パリでの暮らし(1986~)
フランス語(1年半)
4. ケニアの都会と田舎で生活(1998~)
スワヒリ語と英語(半年)
5. スペイン・ナバラ州立大へ(2005)
スペイン語とバスク語(半年)





第1部 アフリカのコンゴ民主共和国の森で村長の養子になって

なんでも見てやろう！
できるだけ話してみよう！
いろいろやってみよう！



ぼくの家族(1990)



ゴミが出ない料理



あわせは「物が豊かなこと」ではなかった



第2部 わが家の四季

世界の各地の人たちからまな
んだ**小規模・持続・循環型**の
くらしをやまぐちに求めて

ありあまっているエネルギーを活用



お米は自給(農協の正組合員です)



第3部 足もとに迷惑施設の計画が来たときどうするか

Bioregionalism (流域の思想) を基本に

NIMBY (Not In My Back Yard

「うちの裏庭はやめて」) から

NIABY (Not In Anybody's Back Yard

「誰の裏庭にもつukらない」) へ